

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

新中期ビジョン

次世代の金融、共に築き切り拓く未来。次世代金融でお客さまや社会と共により良い環境・社会・産業の実現を目指す。

税引前純利益
877億円

単体実質業務純益
707億円

単体当期純利益
501億円

② 中長期の経営戦略

1. 融合と連携の進化

SBIグループ内の全方位的融合、地域金融機関との連携強化、インオーガニックな出資・買収、外部パートナーとのオープン・アライアンスで新規収益機会を創出。

3. 堅牢かつ柔軟な経営基盤

人的資本運営、革新的技術の利活用、戦略的ITシステム投資、攻守一体のリスク管理で自己進化し先見性を備えた経営基盤を構築。

2. 量質転化の追求

預金量や営業性資産の拡大と品質の高い商品・サービス提供で、質の向上へ意識的に連結し、品質・収益性・効率性を向上。

4. サステナビリティ経営の深化

気候変動対応、地方創生、人的資本経営を優先事項に、事業を通じた長期的貢献と持続的成長の好循環を戦略的に実現。

③ 対処すべき課題

① SBIグループ連携

- 顧客基盤や知見取り込みは一定成果あるが先駆性・先進性は道半ば
- SBIグループ内融合を全方位的に進め最先端テクノロジーと多様化顧客ニーズに対応

② 成長基盤の確立

- 資本フル活用とSBIグループ連携で財務基盤は拡大したが収益性・効率性に課題
- バンキングビジネスによる成長追求と業容拡大に対応した経営基盤強化が必要

③ 社会貢献と公的資金完済

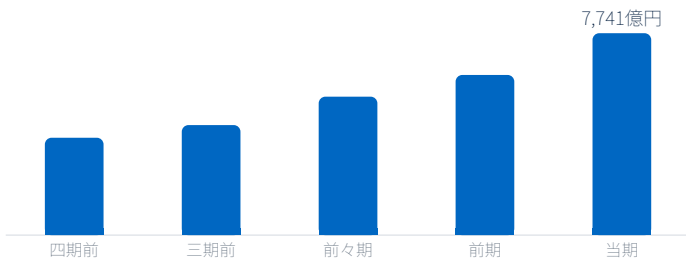
- 2025年3月に合意した公的資金確定返済スキームに沿って完済に向け推進
- 地域金融機関との連携強化で地方創生に貢献し25年以上の資本支援に報いる

面接で使えるポイント

- 2025年度から2027年度の中期経営計画で『次世代の金融、共に築き切り拓く未来』を実現し…
- 金利環境の正常化に対応した国内バンキングビジネスを成長ドライバーとし…
- 公的資金の早期完済と地域金融機関との連携強化で地方創生に貢献し、25年以上の資本支援に事業を通じた社会貢献で報いていく。

証券コード 8303

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
7,741億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
34点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 55.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
856万円

銀行業内 23位/78社

平均年齢
42.7歳

銀行業内 28位/78社

平均勤続
13.1年

銀行業内 73位/78社

女性管理職
22.2%

銀行業内 16位/57社

男性育休
95.0%

銀行業内 54位/55社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
銀行業を主業とする上場企業

主力事業・セグメント

- ・Shinsei金融 35.2%
- ・コーポレート 16.2%
- ・小売銀行 13.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高7,741億円の事業規模
- ・将来性評価は晴れ
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

